



# 授業見学に関するご案内

説明会終了後(14:40~15:30)に開講している授業をご参観いただけます。授業内容につきましては、以下のシラバス(講義内容)をご確認ください。また、当日の見学時には学生スタッフがご案内いたしますが、以下の点にご留意いただきますようお願い申し上げます。

### 【授業見学にあたってのお願い】

- ・教室の後方出入口よりご入室いただき、後方からご見学ください。
- ・授業で使用している配付資料などはお渡しできませんので、予めご了承ください。
- ・見学時における、写真・動画の撮影はご遠慮ください。

## シラバス(講義内容) 抜粋

形態/授業名/教室	講義 / 生活と化学 / 4111 教室
担当教員	齊藤 敬
学類・学年	人文社会学類・心理学類・子ども学類・学校教育学類2年
授業の到達目標・到達レベルの目安	<p>私たちの生活の中で、化学物質は様々な役割を担っています。化学物質等の基本的役割や性質を理解することは、安全かつ快適な生活を送るために非常に重要です。</p> <p>本講義では、化学の基礎とその生活の中での応用事例を学ぶことにより、私たちの生活の中での化学物質がどのように関わっているか、今後どのように利用すればよいのか等の考え方を身につけます。</p> <p>S 化学の基礎知識を十分に修得し、生活の中での化学物質の関わり、考え方を自分の意見を踏まえしっかりと説明することができる。</p> <p>A 化学の基礎知識をある程度修得し、生活の中での化学物質の関わり、考え方を自分の意見を踏まえ説明することができる。</p> <p>B 化学の基礎知識をある程度修得し、生活の中での化学物質の関わり、考え方を説明することができる。</p> <p>C 化学の基礎知識をある程度修得し、生活の中での化学物質の関わり説明することができる。</p>
授業のテーマ・概要	はじめに化学の基礎(物質の成り立ち、周期表、モルの概念、化学反応、酸と塩基、酸化と還元)について学習、その後生活の中での化学物質の役割や問題について解説する。

形態/授業名/教室	講義 / 教育制度 / 4112 教室
担当教員	石井 美和
学類・学年	子ども学類2年
授業の到達目標・到達レベルの目安	<p>○授業の到達目標</p> <p>(1) 日本の教育制度の基本的な枠組みについて、自分の言葉で説明できる。</p> <p>(2) 日本の教育制度の特徴を諸外国の制度と比較し、自分の言葉で説明できる。</p> <p>(3) 日本の教育制度の現代的な課題や改革の動向について自分の言葉で説明できる。</p> <p>○到達レベルの目安</p> <p>(S) 日本の教育制度・教育法規について十分に理解し、その課題や展望について、自分の考えを複数の視点から説明できる。</p> <p>(A) 日本の教育制度・教育法規について十分に理解し、その課題や展望について、自分の考えを説明することができる。</p> <p>(B) 日本の教育制度・教育法規について理解し、正確に説明することができる。</p> <p>(C) 日本の教育制度・教育法規についておおむね理解し、おおむね説明することができる。</p>
授業のテーマ・概要	学校教育や就学前教育など様々な場で営まれている公的な教育実践は、法律や条例などの様々な制度によって支えられています。本授業では、教育を支える諸制度の基本的な枠組みを理解することを通して、教育と社会や地域との関係について理解を深めることをねらいとしています。そのために、諸外国の教育制度との比較や実際の学校体験における教育制度の影響を示す具体例を取り入れ、教育実践と教育制度のつながりを実感しながら学習していきます。

形態/授業名/教室	講義 / 行動分析学 / 4113 教室
担当教員	田島 裕之
学類・学年	心理学類3年
授業の到達目標・到達レベルの目安	<p>環境事象を操作して人の行動を変える方法を理解できる。</p> <p>行動変容法の効果を確認する方法を理解できる。</p> <p>【達成レベルの目安】</p> <p>(S)上記の到達目標を非常によく達成している。</p> <p>(A)上記の到達目標をよく達成している。</p> <p>(B)上記の到達目標を達成している。</p> <p>(C)上記の到達目標を最低限達成している。</p>
授業のテーマ・概要	人の行動に影響する環境事象、およびそれを操作して人の行動を変える方法について解説する。また、行動変容法の効果を確認する方法について解説する。

形態/授業名/教室	講義 / 栄養教育論 I / 4114 教室
担当教員	小野 真実
学類・学年	健康栄養学類 2 年 CD クラス
授業の到達目標・到達レベルの目安	<p>栄養教育のための理論的基礎と栄養教育マネジメントについて理解し、説明することができる。</p> <p>【到達レベルの目安】</p> <p>(S) 栄養教育のための理論的基礎、栄養教育マネジメントについて理解し、説明することができる。</p> <p>(A) 栄養教育のための理論的基礎、栄養教育マネジメントについて理解できる。</p> <p>(B) 栄養教育のための理論的基礎について理解できる。</p> <p>(C) 栄養教育は科学的根拠に基づき、人の栄養状態の維持、改善をめざした行動変容を行っていくものであることが理解できる。</p>
授業のテーマ・概要	<p>栄養教育に活用される理論的基礎（栄養教育の概念、行動科学の理論・モデル・概念、行動変容技法、組織・地域づくりへの展開手法）と、学習者の QOL 向上や健康・栄養状態の改善につながる栄養教育マネジメント（アセスメント、課題抽出、目標設定、計画立案、実施、評価、改善）について解説する。</p>

形態/授業名/教室	講義 / 肢体不自由教育論 I / 4222 教室
担当教員	古山 貴仁
学類・学年	学校教育学類 2 年
授業の到達目標・到達レベルの目安	<p>肢体不自由者の教育における教育課程と指導内容（各教科、自立活動等）などの基本的事項を理解し、説明できる。あわせて、各教育課程に関連した授業と指導案の構成を理解し、説明できる。</p> <p>【達成レベルの目安】</p> <p>(S) 肢体不自由の教育課程と指導内容を説明し、各教育課程に関連した授業と指導案の構成を説明できる。</p> <p>(A) 肢体不自由の教育課程と指導内容を説明し、各教育課程に関連した授業と指導案の構成を理解できる。</p> <p>(B) 肢体不自由の教育課程と指導内容を理解し、説明できる。</p> <p>(C) 肢体不自由の教育課程と指導内容を理解できる。</p>
授業のテーマ・概要	<p>1. 肢体不自由教育の意義・制度・歴史的変遷・現代的課題について理解する。</p> <p>2. 肢体不自由者の教育における教育課程について理解し、教育的配慮を説明できる。</p> <p>3. 肢体不自由者の教育における自立活動について理解し、授業と指導案の構成を説明できる。</p> <p>【実務経験のある教員による授業の概要】</p> <p>特別支援学校で勤務経験のある教員が担当する。特別支援学校における各教育課程の実際について解説する。</p>

形態/授業名/教室	講義 / 障害者・障害児心理学 / 4328 教室
担当教員	成田 まい
学類・学年	心理学類 3 年
授業の到達目標・到達レベルの目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害/A S D/A D H D/L Dの特性と病因を理解できる。</li> <li>・言語未表出段階と言語表出段階の障害のアセスメント及び評価方法を理解できる。</li> <li>・知的障害の日常生活スキル形成の支援手続きを理解して説明できる。</li> <li>・知的障害の言語概念発達の支援手続きを理解して説明できる。</li> <li>・A S D/A D H D/L Dの特性を理解して適切な支援を提案できる。</li> </ul> <p>【達成レベルの目安】</p> <p>(S) 知的障害/A S D/A D H D/L Dの支援方法を的確に複数提案し、その心理学・生理学・病理学的な背景を的確に説明できる。</p> <p>(A) 知的障害/A S D/A D H D/L Dの支援方法を的確に複数提案できる。</p> <p>(B) 知的障害/A S D/A D H D/L Dの支援方法を提案できる。</p> <p>(C) 知的障害/A S D/A D H D/L Dの支援方法を考えられる。</p>
授業のテーマ・概要	<p>知的障害/A S D/A D H D/L Dを有する者における心理的特徴と支援方法を学習する。特別支援学校や特別支援学級で行う教育支援に関する知見を学習する。</p> <p>【実務経験のある教員による授業の概要】</p> <p>病院での実務経験を活かし、医療や学校現場の実情や具体的な指導方法を交えながら講義する。</p>